



耐久 ~真健美~



平成26年度
和歌山県立耐久高等学校 全日制
Monthly Times January
マンズリータイムズ 1月号

◆ 正月返上のセンター特訓プレテストに挑む New



冷え込みの厳しかった元旦(木)と2日(金)、大学入試センター試験受験者を対象に、直前センタープレテストが開催されました。受験生にとって、集中力が途切れたり、孤独感を感じる正月ですが、2週間後の本番と同じ時間設定で問題に取り組み、粘り強く、最後まであきらめない気配が、教室に溢れていました。



◆ 地域の小・中学生及び保護者様を対象とした学校説明会 New

11月に地域の小6、中1、2年生の保護者の方に「耐久高校の印象や思いについてのアンケート」をさせていただき、1,000名を超える方からのご回答をいただきました。耐久高校について、もっと詳しい情報を得たいご意向を受けて、1月17日(土)10時~有田市文化福祉センター、同日14時~耐久高校、18日(日)14時~きびドームの、3会場で学校説明会を開催いたしました。冒頭、生徒の活動の様子を映像でご覧いただき、①耐久高校の「現状と課題」②「育てたい生徒像」③「学校改革の具体的内容」④「学校改革による現時点での変容と具体的到達目標」の順で、説明させていただきました。説明内容等については、創意工夫を行い、今後もこのような説明会を開催します。



◆ 3年生とPTA役員との対談会

毎年恒例の「3年生とPTAの対談会」が、1月15日(木)に開催されました。進路が内定している各クラス代表7名が、奥田PTA会長をはじめとする3名の役員と、「3年間で一番頑張ったこと」、「つらかったこと・涙したこと」、「3年間で自分が成長したと思うこと」、「耐久高校に入学して良かったこと」、「親に対して思うこと」、「後輩に伝えたいこと」などについて、懇談しました。なお、この会の詳細については、3月発行の本校PTA広報紙「ほほえみ」に掲載される予定です。



◆ 中核生徒育成を目指したキャプテン・部長研修会

1月22日(木)の3学期中間考査最終日に、全てのクラブのキャプテン・部長を対象にした研修会が開催されました。今回は体育科の清水大貴先生が講師となり、自身がホッケーを始めて現在に至るまでの話を、波乱万丈な時々のエピソードを織り交ぜながら、リーダーとはいかなる存在かについて、熱弁をふるってくれました。清水先生は小学校4年生の頃に地元のスポーツクラブでホッケーと出会い、天理高校および天理大学でキーパーで部長を経験し、現在和歌山県のホッケー国体選手のキーパーで部長として活躍が期待されています。「目標を持つことの大切さ」に心打たれた生徒は多かったと思います。



◆ 最後まで頑張った校内マラソン大会



1月29日(木)、氷点下に冷え込んだなか、湯浅町民グラウンドを出発点に、校内マラソン大会が行われました。校長先生から「限界だと思った時、もう一踏ん張りすることが大事」と激励の後、男子9.0km、女子6.2kmのコースに挑みました。

記録

男子1位、橋本知幸君(1年) 31分53秒
女子1位、古川美紅さん(1年) 25分28秒

